

# 目次

## 序章 1

### 第一章 《芭蕉》以前 7

- 芭蕉がもとめたもの 8 / 能順・小松天満宮初代別当職社僧 11 / 小松天満宮造営祈念連歌  
15 / 天神信仰 19 / 連歌会の興行場所 21 / 堤歛生・連歌好士 23 / 歛生と能順 27 / 鈴木  
家 32 / 俳人堤歛生 34 / 歛生と桐沢尚庸 38 / 三千風・幽山 39 / 遊行上人 41

### 第二章 芭蕉の来訪 47

- 小松での芭蕉 48 / 芭蕉と同座した俳人 55 / 芭蕉の宿泊先「立松寺」 65 / 能順と芭蕉  
68

### 第三章 《美濃派》《伊勢派》の時代 75

- 北枝と小松の俳人 76 / 美濃派、伊勢派 81 / 風雅人和田宇中とその編著 82 / 河北伊勢派  
里冬編『七さみだれ』 88 / 河南美濃派乃露編『八夕暮集』 91 / 三集一合『此格集』 94 /  
露川の来訪 95 / 里紅（廬元坊）の来訪 99 / 女流俳人すま・待宵 101

## 第四章 《芭蕉》復興期 105

- 中興俳諧 106 / 子日庵一世左靜 106 / 子日庵二世仙仙 108 / 仙仙と五明 113 / 十方庵二世松井 117 / 僧籍俳人既白・耒首・龍石 120 / 八古関子皐 127 / 十村の俳人菊上 129 / 串茶問屋の俳人砂一 131 / 樗良と小松 132 / 草化軒一斧 136 / 夕庵野冬 145 / 樗人・長河・魯魚 147 / 汀画『かさの花』 151 / 久津屋武部家 152

## 第五章 近世後期「翁の道」の人々 157

- 幕末の俳諧 158 / 『自他句集』の編者 159 / 『自他句集』にみられる俳人 160 / 宗匠 162 / 一枚摺 163 / 奉納額 〱 谷郷神社、波佐谷磯前神社、吉竹幡生神社 165 / 奉納額 〱 本折日吉神社、大國神社 171 / 多太神社所蔵の脇起し 176

## 終章 181

## ◎参考・引用文献一覧 187

## あとがき 198

## 索引 204